

『互いを認め合い、すすんで学び続ける児童・生徒の育成』

※ 校区小中学校共通目標として設定

＜目指す子ども像＞

- ・ **自立（自律）**に向かって今を頑張り、互いを**尊重**しながら高めあえる人間関係を構築する生徒
 - ・ 「マナー」、「モラル」、「ルール」が守れる生徒
 - ・ 「自己肯定感」、「目的意識」、「道徳的判断力」をもった生徒
 - ・ 一人ひとりの多様性を理解し「つながり」を大切にできる生徒

＜目指す教職員像＞

- ・ 教育目標の達成に向け、工夫・努力する教職員
- ・ 特別支援の視点を土壤にすべての生徒を「支える」教職員（「させる」ではなく「支える」教育）
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的で対話的な深い学び」を実現するため授業改善を続ける教職員
- ・ チームとして協働し互いに高めあえる関係の教職員

＜目指す学校像＞

- ・ 生徒、保護者、地域から信頼される「安心・安全」が担保された学校
- ・ 生徒が「行きたい」と思える学びや育ちがある学校
- ・ 小中9年間の学びのため「積極的に共有・協働」をする学校

＜令和7年度の重点目標＞

「キャリア教育の充実」でやる気を高め、「授業改善」で学力向上

＜学校経営方針＞

- ・ 「わかる」・「伸ばす」・「支える」授業の実践・授業改善 【学力】
- ・ 「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成 【自己指導力】
- ・ 「つながり」・「高め合い」を大切にできる生徒の育成 【人間力】

＜具体的実践内容＞

○学力実態を捉えた、「わかる」・「伸ばす」・「支える」授業の実践・授業改善

- ・ 教員個々が資質を高め、工夫ある授業を展開する。
- ・ 学習規律を基盤に、「習得」・「活用」・「深化」を意識した授業を展開する。
- ・ 学力向上を目指した少人数・TT授業を展開する。
- ・ 生徒の自主的な学習を支える活動を推進する。

○「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成

- ・ 道徳授業を要として、「道徳的判断力」や「認め合う意識」を育成する。
- ・ 生徒実態に応じた人権学習を展開する。
- ・ 生徒会活動をしっかりと支える。
- ・ 「法令遵守の態度」の定着に向けた指導を継続的に展開する。

※ 「自己指導能力」の育成を図るために留意すべき4つの権能を意識した実践（参考：生徒指導のしおり）

○「つながり」を大切にできる生徒の育成

- ・ 子ども同士がやさしくつながりあえる取組を展開する。
- ・ 「困り」のある生徒への支援を実践する。
- ・ 環境とのつながりを考え、「環境にやさしい取組」を実践していく。
- ・ 地域とのつながりを考え、地域活動への積極的な参加をすすめる。